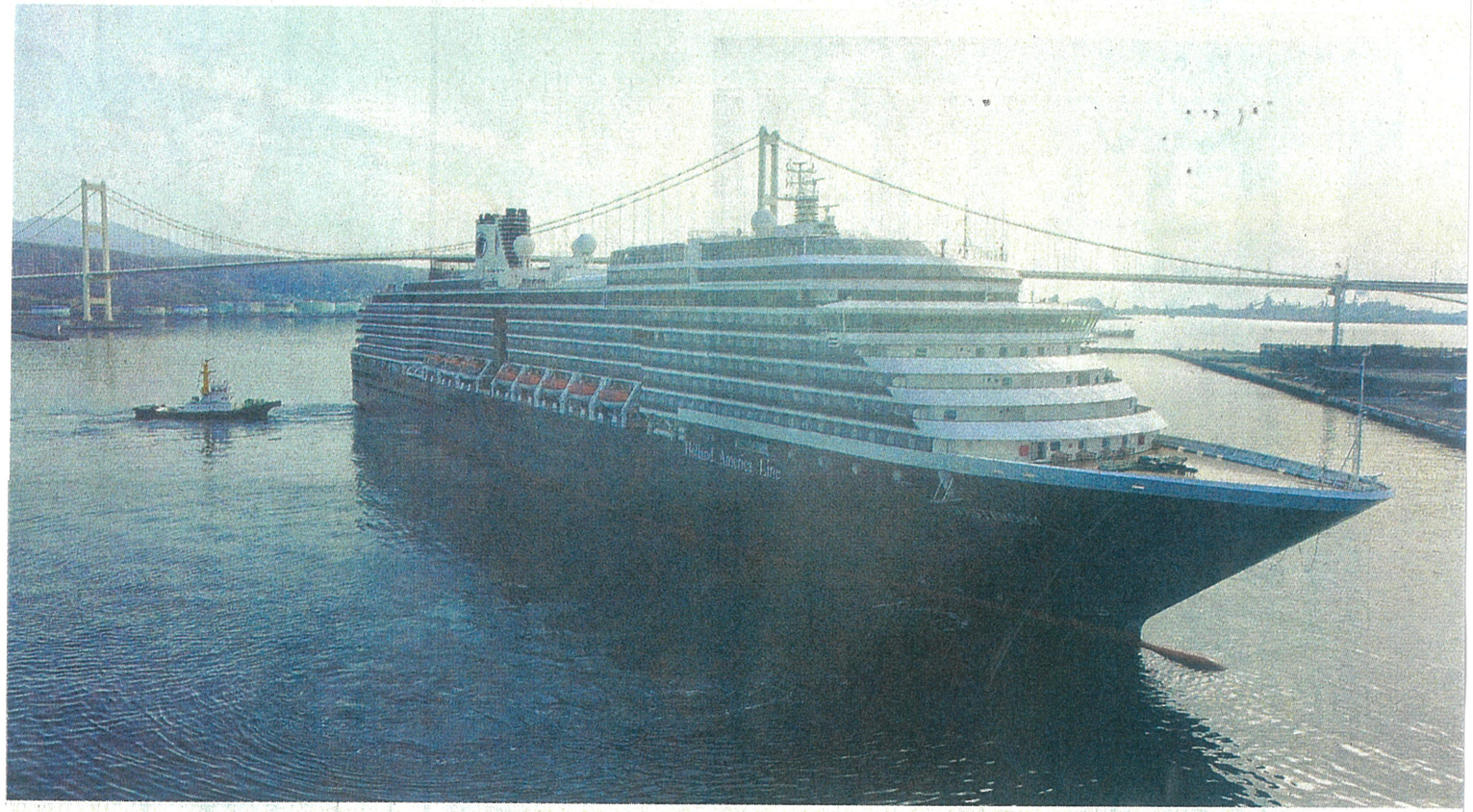
室蘭民報

2024年（令和6年）4月30日（火曜日）

タグボートに押されながら接岸する客船ウエステルダム＝29日午前７時20分、室蘭港祝津ふ頭



オランダ船籍・ウエステルダム

今季初のクルーズ船

室蘭港 市民団体おもてなし

オランダ船籍のウエステルダム（８万2500㌧）が29日、室蘭港に入港した。乗客たちは登別や洞爺湖など西胆振観光を楽しんだ後、釧路港へ向け出航した。クルーズ船の入港は今季初。

同船は2019年以来２回目の入港。27日に乗員乗客約2800人を乗せて横浜港を出港。室蘭港祝津ふ頭には29日午前７時50分ごろに接岸した。米ワシントン州シアトルに向かう途中で寄港した。

岸壁では市民団体「室蘭港を愛する会」の会員ら約50人が国際信号旗を振り出迎え。市観光課や市民観光ボランティアガイド協議会が観光案内ブースを設置し、市内地図を手に案内した。室蘭の市民団体「おもてなしむろらん」は折り鶴を手渡し歓迎。室蘭海星学院高校の生徒が習字体験コーナーで乗客をもてなした。

下船した乗客らは登別や洞爺湖行きのツアーバスでお目当ての観光スポットへ。米イリノイ州シカゴから訪れたレナタ・ハーニックさん(69)は「忍者ショーは見たことがないから楽しみ」と登別伊達時代村（中登別町）へ向かった。

この日午後５時の出港前には、室蘭のよさこいチームＡＪＧ　ＫＩＤＳ（エジェック・キッズ）がよさこい演舞を披露。メンバーや市民ら約100人が見送ると、船上デッキの乗客たちが手を振り応えていた。同船は釧路に向け室蘭港を後にした。

本年度は10月までに７隻が寄港予定。５月のロイヤル・プリンセスと８月のナショナル・ジオグラフィック・レゾリューションの２隻は初入港となる。（浪越崇宏）

Webむろみん 電子版 ムービーはこちら

外国人といい交流

クルーズ船ウエステルダムが入港した際、書道体験ブースで外国人との交流を楽しんだ室蘭・海星学院高校2年の谷川友輝和さん。さまざまな国籍の外国人と会話をし「言語が分からない中でも、活動を通して交流できるのは魅力。このような出会いがとても楽しい」と笑顔を見せていた。（浪越崇宏）